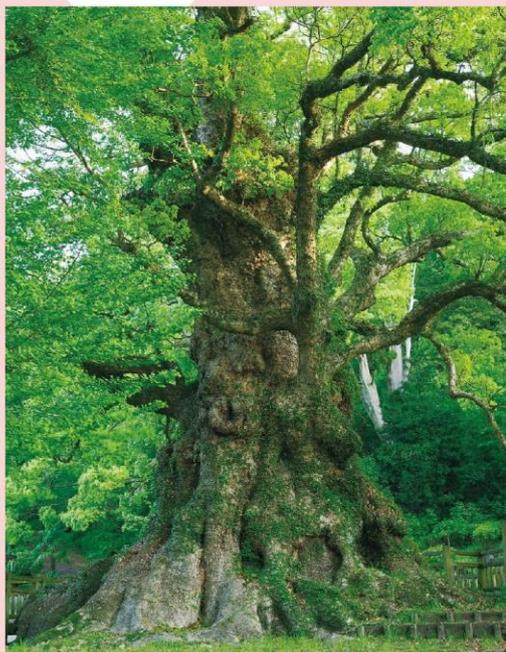




概要版

# 始良市観光おもてなし計画

おもてなしの心あふれ、“本物”が光るまちづくり  
～ともに磨き、創ろう 光り輝く「あいら観光」の魅力～



平成26年3月  
始良市



## 1. 計画策定の目的・期間

この計画は、平成24年3月に策定した「第1次始良市総合計画」に基づき、「おもてなしの心」による観光交流人口の拡大を図るため、始良市の持つ潜在的な可能性を最大限に活かし、将来にわたって持続的に提供・享受できるような魅力ある観光地づくりを進め、もう一度訪れたいくなるようなまちづくりの方向を示すものです。

また、この計画は、観光に関する国及び鹿児島県の動向を踏まえ、行政、市民、観光関係団体、事業者等の共生と協働のもと、始良市における観光施策を総合的かつ計画的に推進するための指針となるものです。

計画期間は平成26年度を初年度とし、長期的な展望も視野に入れた5か年を対象に前期2か年と後期3か年とし、平成30年度を目標年次とします。

## 2. 始良市の観光における課題

始良市の観光の現状に基づく、①市民活動、②観光資源、③情報発信・PR、④アクセス、⑤潜在的可能性の5つの視点における始良市の観光の強み、弱みを踏まえ、始良市の観光振興の課題を以下のとおり整理します。

### 課題① 市内全域にわたる多様な主体の連携が必要 <市民活動>

- ・ 始良市が目指す観光振興の方向性の明確化
- ・ 地域の枠を越えた活動の連携
- ・ 連携のための組織づくり、仕組みづくり
- ・ 活動をつなぎ、情報を集約するコーディネート機能の構築

### 課題② 資源をつなぐストーリーの構築が必要 <観光資源>

- ・ 各資源をつなぐ観光メニュー・プログラムづくり
- ・ 観光メニュー・プログラムの各地域の受け皿の確保
- ・ 歴史、文化、自然を活かした観光ルートの構築
- ・ ゾーニングの明確化

### 課題③ 情報の集約、発信戦略の共有が必要 <情報発信・PR>

- ・ 情報発信のターゲットの明確化
- ・ 情報の一元化、イメージ戦略の統一
- ・ 内発的な観光の仕掛け（住む人が地域のことを知り、好きになり、訪れる、その良さを市外の人に伝える、一人一人の言葉で語る）

### 課題④ 良好な広域アクセスを活かした展開が必要 <アクセス>

- ・ 鹿児島空港、鹿児島中央駅からの観光客の誘導、ツアープランづくり
- ・ 広域での観光プランの作成
- ・ 県内在住者をターゲットとした観光メニューづくり、PRの展開

### 課題⑤ 始良市の立ち位置の明確化が必要 <潜在的可能性>

- ・ 周辺市町村との差別化、始良市に来る目的の明確化
- ・ 宿泊施設の誘致及び周辺市町村の宿泊機能の活用
- ・ 桜島サービスエリアの有効活用（スマートインターチェンジの建設、情報発信の強化等）
- ・ 食の展開、コンベンション機能の強化

### 3. 始良市の観光の目指すべき姿及び基本方針、基本施策

「県内一くらしやすいまちづくり」の実現に向けて、市民の一人一人のおもてなしの心があふれ、各地域に存在するありのままの「あいら」の素材を光り輝かせる観光都市を市民と協働して創り上げていくことを目指し、本計画の基本理念を次のとおり掲げ、これを具現化するための4つの基本方針と12の施策を掲げます。

#### 基本理念

## おもてなしの心あふれ、“本物”が光るまちづくり ～ともに磨き、創ろう 光り輝く「あいら観光」の魅力～

※「本物」とは…始良市の各地域に既に存在するありのままの「あいら」の素材そのもののこと

#### 基本方針1

### 始良市の「宝物」を観て、体感してもらう

多様な素材に磨きをかけ、資源としての魅力向上に加え、歴史的なつながりやそれに基づくストーリーを活かし、市内に点在する資源をつなぐことにより、観光における付加価値を高めます。

「まち」  
が  
輝く

#### 基本方針2

### 市民が活躍できる仕組み・場を創る

「人」に焦点を当て、活動者の多様な思いを共有する仕組みを創るとともに、市民一人一人が観光振興に参画できる場を創ります。  
また、地域との連携を図り、認識を共有し、協働できる体制を創ります。

「人」  
が  
輝く

#### 基本方針3

### 戦略的な情報提供と広域連携を行う

情報の一元化を図った上で、多様なツールや既存メディアを活用し、ターゲットに応じた情報発信を行います。  
また、広域連携やテーマ別連携の際の始良市の立ち位置を明確にした上で、メニューづくりやPRを行います。

「情報」  
が  
輝く

#### 基本方針4

### 観光関連事業者等の育成と連携を促す

始良市における観光関連事業者等の育成を図り、地域経済に波及効果をもたらすことができるよう連携を図ります。  
既存の支援事業についてはその効果を検証し、主体的、持続的な活動となるよう促進します。

「事業者」  
が  
輝く

始良市の観光振興

## 基本方針1 始良市の「宝物」を観て、体感してもらう

### ①観光メニュー・プログラムづくり

#### ■ 始良市の資源を活かした多様な観光メニューづくり

- 市内をめぐる観光ルートの作成
- 歴史・自然等を活かした観光イベント(島津義弘公没後400年、伝統芸能等)の企画実施
- 自然体験メニュー(海、山、川、農業等)の開発
- 癒し体験、パワースポット巡りのメニュー化
- 市内のお店巡りプランの企画
- 歴史、自然、地質資源等を活用した体験学習メニューづくり
- 体験型観光における対応マニュアルの作成

#### ■ 始良市の資源を売り出す企画・プロジェクトの実施

- あいらフットパスの企画、実施、定着化
- あいらびゅー号の継続、新たな取組みの企画
- 食のブランド開発プロジェクトの支援、育成
- あいらん家<sup>ち</sup>うまいもんプロジェクトの継続、新たな取組みの企画

### ②観光資源磨きと新たな掘り起こし

#### ■ 観光資源・施設の魅力づくり

- 国、県、市指定の文化財の観光地としての整備
- 民俗文化財の公開と活用
- 霧島錦江湾国立公園(重富海岸等)の保全と活用
- 市内に点在する温泉の活用
- 観光スポットとなる自然の保全
- 歴史的な建造物やまちなみの景観の保全

#### ■ 季節感とおもてなしの心があふれる場所・環境づくり

- 季節の花々の植栽による面的な景観づくり
- JRの観光列車(ななつ星、はやとの風)の沿線、駅の魅力づくり、PR看板等の設置の検討

#### ■ 新たな観光素材の掘り起こし

- 始良市の「食」(特産品、スイーツ、郷土料理、B級グルメ等)の掘り起こしと開発
- ニューツーリズム・着地型観光の維持・強化、新たな素材の活用、メニューの創出

### ③観光資源周辺の環境整備

#### ■ 観光拠点施設の整備

- 地域の中心となる観光施設の拠点機能の強化
- 観光資源等におけるバリアフリー化や子ども目線の施設整備の推進
- 桜島サービスエリアや加治木港の観光拠点としての活用可能性の検討

#### ■ 魅力ある観光地形成のための周辺施設整備

- 案内サイン(全体案内板、観光資源の個別案内板、誘導看板等)の整備
- 観光動線となる道路の整備
- 観光資源周辺における遊歩道、トイレ、駐車場等の整備、バリアフリー化の推進

## 基本方針2 市民が活躍できる仕組み・場を創る

### ④人、組織をつなぐ体制づくり

- 市内の観光に関わる多様な主体によるネットワークの構築
- 観光関係団体の主体的活動の促進
- 各主体の活動情報を共有する仕組みの構築
- 各主体が意見交換する活動連携ワークショップの開催
- 観光ガイド組織の連携体制の構築、受付窓口の一本化



▲観光ガイドの様子

### ⑤各地域、組織の取組みの維持、強化

#### ■ 始良市の観光振興を担う人材の確保・育成

- 活動者のスキルアップ講座の開催
- 地域の祭り・イベント、郷土芸能の継承(無形民俗文化財の保存会への助成、後継者の育成など)
- 観光ガイド養成講座の開催
- 横断的な観光行政の体制づくり

#### ■ 各地域の体制強化と魅力の向上

- 観光振興に寄与する市民活動の支援、市民と行政の協働体制の強化
- 観光誘導エリア(モデル地域)の設定
- 自治会ごとの清掃、植栽、花植え等による観光資源周辺のきれいな景観づくりの促進

### ⑥市民が地域を知る、学ぶ、誇りに思う仕掛けづくり

#### ■ 市民が始良市のことを学ぶ機会の創出

- 始良市の歴史、文化、自然等について学ぶ場としての「あいら学習会」の開催(あいら検定)
- 子どもが始良市のことを学ぶことができる教育プログラムの開発、実践
- 始良市の魅力を伝える写真コンテストの開催
- 始良市の観光を考える市民ワークショップの開催

#### ■ 市民主体のおもてなしの促進

- 観光資源管理のための市民参画組織の構築
- おもてなし講習会の開催
- 来訪者へのあいさつ運動の実施
- 観光バスや観光列車(ななつ星、はやとの風)に市民が手を振る取組みの企画、実施

## 基本方針3 戦略的な情報提供と広域連携を行う

### ⑦情報発信手法の多様化とメディアの活用

#### ■情報発信・共有の仕組みづくり

- 始良市の観光WEBサイトの強化、情報の一元化
- 始良市のホームページのリニューアル
- 観光資源のデータベース化、紙媒体の整理
- SNS等の活用によるリアルタイムに情報発信できる仕組みの構築
- 観光施設・事業者間の情報共有の仕組みの構築

#### ■市内外における観光案内の強化

- 情報窓口としての観光協会の機能強化とスタッフの確保・育成
- 市内の主要施設(JR各駅、桜島サービスエリア等)における観光案内の強化
- 市外の主要施設(鹿児島中央駅、鹿児島空港、九州自動車道サービスエリア等)における観光PRの強化
- 食事処の情報発信の強化(お食事処マップ、HPの作成など)
- 公共交通の案内強化(鉄道、バスの時刻、ルート等)
- 教育旅行用の手引きや小・中学生でもわかる解説書の作成

#### ■メディアの活用による始良市のPR

- 公用車や民間の交通機関(航空機、JR、バス、タクシー等)の発信媒体としての活用(車体・機体へのラッピング)
- イベント情報の効果的な発信
- 全国の旅行雑誌、旅行会社、鹿児島県内の情報誌等への売り込み強化
- PR動画の作成

### ⑧広域連携メニューづくり

- 錦江湾まるごと体験(国立公園、ジオパーク等)の企画、実施
- 九州巨木物語連携の強化(熊本市、武雄市、始良市)
- 鹿児島中央駅や鹿児島空港を起点とした観光ツアーの企画、実施

### ⑨広域連携体制の維持、強化

- 周辺市町との広域連携体制の強化(始良・伊佐地域観光連絡協議会、錦江湾奥会議等)
- 広域連携情報の集約、発信
- 鹿児島県観光連盟等の関係機関・団体との連携強化



▲始良市観光ガイドブック



▲始良市観光協会ホームページ



▲錦江湾(始良カルデラ)



▲蒲生の大クス

## 基本方針4 観光関連事業者等の育成と連携を促す

### ⑩観光関連事業者等との連携

- 観光協会や特産品協会、商工会等の観光関係団体の自立的活動の促進
- 企業との連携(ウォーキングイベントでのJRやスポーツメーカーとのタイアップ等)
- 民間の交通機関(JR、バス、タクシー等)と連携したツアー企画、実施

### ⑪観光関連事業者等の育成

- 始良市の特産品、お土産等を販売する店舗の育成
- 始良市の特産品や食の開発のための担い手の確保、育成のための支援
- 観光の魅力を高める地域産業・ものづくりの育成
- 観光関連事業従事者のおもてなし講座の開催
- 観光施設管理者(指定管理者等)の意識啓発、施設の運営強化

### ⑫地域経済活性化の促進

- 始良市の特産品の開発(6次産業化の推進)
- 有機栽培の農産品及び農家のPR、ブランド化
- あいらブランドのロゴマークの制作、運用
- 既存の物産館の充実、強化
- 始良市物産館の整備
- 生産者と加工業者、販売店舗、飲食店との接点をつくる異業種交流会の開催

- 旅館・ホテル等の宿泊施設の積極的な誘致
- 既存の宿泊施設の活用促進
- 「カモコレ」の取組み継続(新たなメニューの開発、持続可能な財源の確保など)



▲カモコレの様子

## 4. 始良市の観光振興の重点プロジェクト

「市民主体のおもてなしの仕組みづくり」「多様な観光メニューづくり」「観光拠点施設づくり」という3つの視点から、各施策分野を越えて今後5か年で重点的に実施する事業を、重点プロジェクトとして位置づけます。

これらの重点プロジェクトを行政内の各部署、関係機関が連携して横断的に取り組むとともに、市民との協働で取り組むことにより、始良市に存在するありのままの素材を磨き上げ、基本理念である「おもてなしの心あふれ、“本物”が光るまちづくり」を推進していきます。

### 重点プロジェクト

- 1 市民主体のおもてなしの仕組みづくり
- 2 多様な観光メニューづくり
- 3 観光拠点施設づくり

## 重点1 市民主体のおもてなしの仕組みづくり

### ① 始良市のことを学ぶ場づくり

始良市の魅力を自らの言葉で語ることができる始良市民を一人でも多く育てるため、市民の誰もが自らの興味に応じて、歴史、文化、地質、植生等の始良市のことを深く掘り下げて学ぶことができる機会をつくります。始良市は観光ボランティアをはじめ始良市のことを語るができる人材が非常に豊富であり、教える側と学ぶ側のマッチングを行い、持続的に学び合える仕組みをつくります。

また、そのような場での気づきを通して、地域住民にとっての地域への誇りや思いを明確にします。

### ③ 観光関連事業者・団体の強化

観光協会が始良市の観光の窓口機能を担い、自主事業を実施することができるようにその位置づけを強化するとともに、始良市の観光振興に寄与する団体や事業者の自立的な活動を促進し、持続的に活動が続けられるよう支援します。

また、始良市の食材を取り扱う飲食店の拡大を図るとともに、始良市の観光の付加価値を高める地域産業・ものづくりの維持、発展を図り、始良市の「食」や特産品等の開発、販売を促進します。



▲始良市の観光を考えるワークショップの様子



▲重富海岸の清掃の様子

### ② おもてなしのすそ野の拡大

観光資源周辺の清掃や花植え、交流事業等の地域ごとのおもてなし活動を継続するとともに、市民の誰もが気軽にすぐにも参加できる、おもてなしの取組みを企画、実施し、地域ごとの個別の取組みを積み重ねることにより、市全体としてのおもてなしの機運を高めます。市民が主体となるおもてなし運動については、市が支援する仕組みづくりを行います。

また、市内で献身的に取り組んでいる人、団体、地域、事業者に光を当て、「人」の魅力を始良市の魅力として発信・PRします。

### 今後5か年の実施事業

- 「あいら学習会」の開催(あいら検定)
- 観光ガイド育成講座の開催
- 観光資源周辺のきれいな景観づくりの促進
- おもてなし講習会の開催
- 来訪者へのあいさつ運動の実施
- 観光バスや観光列車に市民が手を振る取組みの企画、実施
- 観光協会の機能強化
- 観光関係団体への支援
- 特産品協会等による特産品開発、PRの促進
- 地産地消推進店の協力店舗拡大
- 観光の魅力を高める地域産業・ものづくりの育成

## 重点2 多様な観光メニューづくり

### ①ターゲットを踏まえた観光メニューづくり

各地域の観光資源をつなぐストーリーを描き、市内の魅力ある様々な「人」「もの」「情報」との出会いを演出する観光メニューづくりを行います。

また、フットパスと連動したウォーキングツアーや始良市の自然や歴史をありのまま味わう体験型プログラム等を提供することにより、始良市を巡る、体験する、味わう機会を積極的に発信し、観光の目的地としての位置づけの強化を図ります。



▲あいらフットパスの様子

### ③豊富な観光資源や地理的特性を活かした観光ルート・コースの設定

ウォーキング、サイクリング、周遊バスなど、各移動手段の制約条件に応じた観光ルート・コースづくりを行います。ウォーキングコースの設定においては、JR駅を最大限に活用し、癒しと健康志向を意識した企画づくりを行います。

また、グルメ店舗ガイドを発行するなど、「食」を中心とした観光コースについても設定し、各店舗への誘導を図ります。

### ②始良市の魅力を再発見できる記念イベントの企画

平成27年に迎える市制5周年、同時期に開催される「国民文化祭かごしま」、平成30年に迎える島津義弘公没後400年において、始良市の歴史・文化、自然環境を体感し、始良市の魅力を再発見できる記念イベントを企画、実施します。

#### 今後5か年の実施事業

- 市制5周年記念事業
- 国民文化祭関連事業の実施
- 島津義弘公没後400年事業の実施
- 多彩なフットパス・ウォーキング・サイクリングコースの設定
- エコツーリズム・グリーンツーリズムの促進
- スポーツツーリズムの促進
- 新たな観光資源の掘り起こしによるメニューづくり
- 新たな周遊観光バスの運行
- 既存の宿泊施設と連携した宿泊プランづくり
- ジャンル別グルメ店舗ガイドの発行
- 始良市の魅力を伝える写真コンテストの開催

## 重点3 観光拠点施設づくり

### ①市内の観光拠点機能の強化

蒲生観光交流センターや蒲生物産館「くすくす館」の周辺地域を観光誘導を図るモデル地域として設定し、まずそこに来ってもらうための仕掛けを行い、情報発信や観光メニューの提供などを行うことにより、市全域への波及を図ります。

その他の地域については、龍門滝温泉や整備予定の始良市物産館、(仮称)重富干潟ミニビジターセンター等を観光拠点施設として位置付け、これら地域を一体のゾーンとして売り出し、来訪者が楽しめる観光資源とセットで提案することで、地域としての誘引力を高めます。

さらに、市内外の交通結節点(市内:JR各駅、桜島サービスエリア、市外:鹿児島中央駅、鹿児島空港等)に観光情報発信のサテライトを設け、市内への観光誘導を図るなど、来訪者の動きを踏まえたきめ細かな観光案内策についても併せて展開を図ります。

### ②観光地として必要な環境整備

歴史・文化資源の保存・修復に加え、トイレ、駐車場等の観光資源周辺の環境整備を進めます。

また、ハード整備だけでなく、各観光資源を巡る観光メニューづくりや魅力ある情報発信等のソフト事業に関しても併せて展開を図ります。

#### 今後5か年の実施事業

- 重富海岸の整備
- 掛橋坂駐車場等の整備
- 蒲生城登山路の整備
- 平松城石堀の整備
- 花園寺跡の整備
- 森山家の整備
- ふれあいパークの整備
- 蒲生物産館「くすくす館」駐車場の整備
- 始良市物産館の整備



## 始良市観光おもてなし計画

発行：始良市 企画部 商工観光課  
〒899-5492 鹿児島県始良市宮島町25番地  
TEL：0995-66-3111 FAX：0995-65-7112  
<http://www.city.aira.lg.jp/>

